



折戸小夜子 (フェアな市政)

- 1.池のある公園管理のあり方
- 2.劣悪な旧南豊ヶ丘小学校跡地管理の原因究明を

問 豊ヶ丘南公園の池の水位が低下し、藻の発生水質等の状況を早急に改善する為に防災貯水槽から供給量を増やす対応が必要だ。池の周囲を散歩する市民からは、悪臭がする、かい掘りでの解消が必要だとの声があるがどうか。

答 降雨量が少ないので水位等状況を把握し水を供給する。

問 豊ヶ丘南公園はアダプト制で、市民が清掃や池の東側のハスの株分けの為に草刈り活動を自主的におこなっている。市のボランティア活動に有償と無償が存在するが、無償を解消し、有償ボランティアの方向に変更が必要ではないか。

答 ボランティア団体の活動内容に違いや共通点がある為、ボランティア制度の整理を検討している。

問 旧南豊ヶ丘小学校跡地は、東京グリーンスポーツリンクが平成27年から施設を管理している。一昨年の台風24号で、西側のり面の一部が崩落し、西側施設の桜が25本も立ち枯れて異様な修景だ。早急に直接の原因究明調査を求め。



立ち枯れた桜の木

答 管理者に原因究明の調査の対応を求めている。



いちぢ恭子 (ネット・社民の会)

- 1.コロナ禍での児童の生活と学習
- 2.これからの教育がめざすべきものは何か

問 一斉休校の間、児童の学習支援方法は各校で幅があったと思う。市として基準を作らないのか。

答 今回の経験を基に、オンライン学習と登校日の指導を組み合わせ、学習環境の整備を進める。

問 学校再開後、子どもや保護者に対しアンケート等の調査を行ったか。

答 児童対象のアンケートを実施したほか、必要に応じて面接等の支援も個別に行っている。

問 ICT機器が児童の健康に与える影響について、校長会で認識や情報の共有を行っているか。

答 文部科学省の手引きを基に認識を共有し、ネット上の誹謗中傷や犯罪への警戒も含めて、児童に適切な指導を行っていく。

問 コロナ禍で図らずも短期間ながら実現した20人学級に関して、市の見解を聞きたい。

答 分散登校時に体験した少人数学級では、児童にきめ細かな対応ができた。一方で大人数の授業のメリットもあり、課題として取り組んでいきたい。



斎藤せいや (飛翔)

- 1.教育環境の改善について
- 2.通学路の安全について

問 心の教室のエアコン設置状況について伺う。

答 小学校で64.7%、中学校で35.7%設置されている。

問 心の教室へのエアコン設置が難しい場合、小型スポットクーラーなどを導入することはできるかを伺う。

答 すでにエアコンが設置されている部屋を使用するのも一つの手段である。また、小学校には体育館に災害用のスポットクーラーを導入、整備が完了しているので校長の管理下のもと、それを使用することは可能である。

問 通学路の安全確認は定期的に行っているか伺う。

答 年に1度、夏休みに通学路合同安全点検を実施している。

問 夕方の夕焼けチャイムとともに見守りの呼びかけ放送をしていたが、コロナ禍で中止している。呼びかけ放送を小学生の下校時に流すことが地域の防犯意識を高めるのに効果的であると考えますが、再開は可能かを伺う。

答 実施に当たって課題は多くある。2段階で放送している自治体もあるので他市の状況を見させていただき様々な角度から検討して決定していきたいと考えている。



小林 憲一 (日本共産党)

- 1.「密集」解決する少人数学級実現を
- 2.命守る情報が届く防災ラジオ導入を
- 3.郵便投票条件緩和で投票権確保を

問 コロナ禍でとりわけ31人以上の「密集」を解決する少人数学級の重要性がますます高まっている。学校再開後の分散登校で「子どもたちの集中度が違う」「不登校ぎみの子どもが出てこられるようになった」などの教員の声もある。政府も少人数学級を検討しているのではないか。

答 小中学校における少人数学級は必要。「密集」状態を緩和することや、きめ細やかな指導ができる効果がある。31人以上の学級は「密集」状態に該当する状況もある。

問 25人学級を想定した場合、必要となる教職員と教室の数を教えてほしい。

答 教職員は136人増、教室は54増となる。

問 命に関わる情報が確実に届く点で防災ラジオは有用、導入の検討を求め。分散型避難の課題は何か。

答 避難行動の多様化をすすめ避難所・避難場所を増やす。

問 コロナ禍の状況もふまえ、要介護5などに限定されている郵便投票の条件を緩和すべきではないか。

答 条件緩和は、投票機会を確保する1つの方法である。国の関係機関に要望しているところだ。

